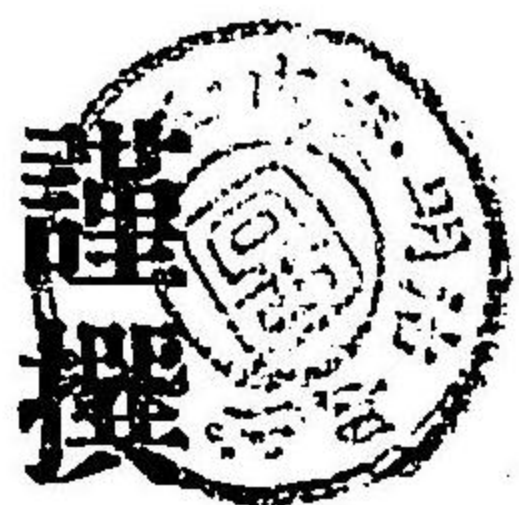


出雲國  
美保關

美保神社神德略記

正七位勳六等田中知邦



出雲國美保關ナル國幣中社美保神社ニ鎮リ  
マシマセル事代主大神ハ又ノ御名ヲ八重事  
代主神ト申シ又積羽八重事代主神トモ申シ  
奉ル此大神ハ出雲大社ニ鎮リマシマス大國  
主神ノ第一ノ御子ニマシテ我帝國ノ忠臣孝  
子ノ鑑ト仰ガレ給ヒ又産業ノ神福祉ノ神ト  
尊マレ給フ大神ナリ故ニ歷朝特ニ御崇敬在

ラセラレ、億兆臣民モ深ク景仰シ奉レリ。此大神ノ御事歴ハ、史籍ニ詳ナレド、今、其御神徳ノ一斑ヲ、左ニ略記シ奉ラン。

神代ノ古皇祖天照皇大神、皇孫瓊々杵尊ヲシテ、豊葦原ノ瑞穂ノ國大日本帝國ノ別號ヲ治メシメント思食シ、武甕槌神、經津主神ヲ、出雲國ニ降ラシメ、命ヲ、大國主神ニ傳ヘ、國ヲ去ラシメントシ給ヒケリ。茲ニ武甕槌、經津主ノ二神、皇祖ノ神勅ヲ奉ジテ、豊葦原ノ瑞穂ノ國ニ降リ、出雲國ナル、五十田狹ノ小汀ニ到リ、大國主神ニ此神勅

ヲ傳ヘテ、汝、此國ヲ避ケマツランヤト宣ヒシニ、大國主神對ヘ申シテ、我子、事代主ニ問ヒテ、後對ヘ奉ルベシト宣ヒテ、乃チ事代主神ニ訪フ、是時、事代主大神、美保碕本社社所在地ニ坐マシテ、其旨ヲ承リ對ヘ申シテ、天神ノ勅ナリ、我父、宜ク、避ケ奉ルベシ、吾、亦違ヒ奉ルベカラズト對ヘテ、避ケ給ヒシカバ、大國主神、其子、事代主神ノ辭ヲ以テ、二神ニ對ヘ申シテ、我怙メリシ子ダニモ、斯ク、既ニ避ケ奉リヌレバ、我モ、亦避ケ奉ラン、若シ、吾禦ギ奉ラバ、國內ノ諸神、亦、必ズ同

ク禦ギ奉ルベシ、今、我避ケ奉ル上ハ、誰カ復、敢  
テ順ヒ奉ラザル者アラシ、マタ八重事代主神、  
前後トナリテ、仕ヘ奉ラバ、違フ神ハアラジト  
テ、平國ノ廣矛ヲ、二神ノ前ニ進メテ、是ハ、曩キ  
ニ、我國土ヲ經營セシ時ニ杖ケリシ廣矛ナリ、  
今斯ク、我等父子順ヒ奉ルニヨリテハ、國內ニ  
禦ギ奉ルベキ神ハアラザルベケレドモ、若シ  
違フ者アラバ、此廣矛ヲ以テ、誅シ給ヘトテ、之  
ヲ、二神ニ授ケ、遂ニ、此國ヲ去リヌ。斯ク、大國主  
神ノ、大事ヲ、自己ニ專斷セズシテ、其御子、事代

主大神ニ謀リ給ヒ、大神ノ其御父、大國主神ニ  
對フルニ、臣節ノ大義ヲ以テシ給フ。所謂父子  
ノ親、豈、此ニ尙フルモノアランヤ。大神、御父大  
國主神ト共ニ、既ニ、國土ヲ經營シ、天下ヲ掌握  
シ、威力ノ赫々タルモノアリシニ、一タビ、皇孫  
瓊々杵尊ノ降臨ヲ聞キ、兵權ヲ解キ、國土ヲ棄  
テ去リ給フ。猶、弊屣ヲ脱スルガ如クナリシ  
ハ、臣道ヲ守リ給ヘル至恭至順ナルモノ、所謂  
君臣ノ義、豈、此ニ尙フルモノアランヤ。君臣ノ  
義、父子ノ親ヲ明カニシ、國體ノ基礎ヲ鞏クシ、

後世ヲシテ、率由スル所ヲ知ラシメントシ給  
フ神意、豈、宏遠深厚ナラズヤ。其懿範ヲ、後世ニ  
貽シ給ヘルコト、至大至廣ナリト謂フベシ。實  
ニ、大神ハ、皇孫尊ニ對シテハ忠道ヲ完ウシ、父  
神ニ對シテハ孝道ヲ全ウシ給ヘリ。所謂忠孝  
兩全、果決勇斷ニ坐マシケリ。  
人皇第十四代、仲哀天皇、西國ノ強賊、熊襲ヲ親  
征セントシ給ヒシ時、大神ハ、皇后息長足媛命ニ託宣  
シテ、神教ヲ垂レ、佑助ヲ爲シ給ヒタリ。是ヲ以  
テ、息長足媛命神功皇后ハ、神教ニ從ヒ、熊襲ヲ討伐セ

シメ、尋ギテ、三韓ヲ親征シ、大勝ヲ得テ、長ク我  
國威ヲ世界ニ發揚シ給ヒヌ。斯ク、三韓ヲ親征  
シ給ヒシニハ、其原因ノ在ルアリ。抑、熊襲ガ皇  
化ニ服セズ、已酋長トナリ、凶類惡黨ヲ嘯聚シ、  
頗ル勢力アリテ、反逆ヲ逞ウセントセシカバ、  
仲哀天皇ハ、之ヲ征伐セント思召シ、ガ、尋常  
ノ事ニテ戡定スベクモアラ子バ、御親征仰出  
サセラレ、恐多クモ、天皇大元帥ニ成ラセラレ、  
數多ノ軍隊ヲ御引率アラセラレ、筑前國、檀日  
ノ地ニ至ラセラレタリ。假令、熊襲ガ新羅國ノ

後援ヲ得テ、強勢ヲ恃ミ、我一天萬乘ノ大君ニ  
射向ヒタリトテ、我國體ノ本源ハ、皇祖天神ノ  
神勅ニ出デ、皇統一系、萬古不易ノ帝國ナレバ  
焉ゾ、反逆ヲ遂グルコトヲ得ン。終ニ熊襲ハ、九  
年紀元八百六十年三月ニ至リ、歸順セリ。仲哀天皇、熊襲御  
征討ノタメ、筑前國、橿日宮ニ御駐輦、中八年紀元八百  
五十九年九月五日、大神ノ、息長足媛命ニ託宣シテ、教  
ヘ給ヒケルハ、天皇、熊襲ノ服從セザルヲ憂ヒ  
給フコト勿レ。茲國ニ勝リテ善キ國西ノ方ニ  
アリ、コト新羅國ト云フ。金銀種々ノ珍寶多シ、

今、我、天皇ニ授ケ奉ラン。若シ能ク吾ヲ祭リ給  
ハバ、及ニ血ヌラズシテ、其國必ズ自ラ服ハン。  
又熊襲ノ如キハ、自ラ服從セント、懇ニ教ヘ示  
シ給ヒタリケリ。天皇思スラク、新羅國ガ熊襲  
ノ後援ヲ爲スカラハ、今熊襲ヲ伐タンヨリハ、  
寧、新羅ヲ伐タン方肝要ナリ。然レバ則、水源ヲ  
絶テバ末流乾キ、根幹ヲ切レバ枝葉凋ムハ必  
然ナリト思食サレタリ。然レドモ、叡志ヲ遂ゲ  
給ハズシテ、崩御マシクケレバ皇后、其叡志  
ヲ繼キ、神教ニ從ヒテ、先厚ク諸神ヲ祭リ給ヒ、

遂ニ新羅國ヲ征伐シ給ハントテ、九年紀元八百六十年十月三日、舟師ヲ率井テ、和珥津ヲ御發艦アラセラレシニ、順風大ニ起リ、御艦浪ノマニマニ行キテ、楫艫ヲ勞セズシテ、直チニ新羅國ニ着カセラレ、海潮ハ押上リテ、遠ク國ノ中央マデモ滿チ至リケリトゾ。並ニ新羅王、波沙寐錦、戰々慄々、國人ヲ集メテ曰ク、新羅國往古ヨリ、海水ノ國ニ上リシコトヲ聞カズ、天運盡キテ、國モ海トモナルニヤト、言ヒモハテヌニ、舟師ハ海ニ滿チ、旌旗日ニ輝ギケレバ、新羅王遙ニ望ミ

見テ云ヒケラク、吾聞ク東ニ國アリ、日本ト云フ、聖帝マシクテ、天皇ト云フトゾ。必ズ其國ノ神兵ナラン、豈、兵ヲ起シテ拒キ奉ランヤトテ、卽テ、素旆ヲ揚ゲテ、御艦ノ御前ニ詣リ、叩頭シテ曰ク、今ヨリ後、天地ト共ニ永ク從ヒ奉リテ、毎年貢物ヲ獻ジ奉ラント申シ、又曰ク、東ヨリ出ヅル日西ヨリ出デズバ、朝貢ヲ絶ツコトアラジト誓ヒ申シテ、金銀ヲ始メ綾羅錦繡ヲ、八十艘ノ船ニ積ミテ、皇軍ニ從ヒテ獻リケリ。コレヲ見テ隣國ナル高麗、百濟、任那ノ國々モ、

自ラ歸順シ奉リ、永ク藩屬トナリテ、朝貢ヲ絶  
タジト誓ヒケレバ、舟師ヲ御返シアラセラレ  
シトナン。コレヨリ高麗、百濟、新羅、チバ三韓ト  
唱ヘ、久シク我属國トナリタリ。此三韓ハ、現今  
ノ朝鮮ノ事ナリ、大神ノ託宣、誠ニ峻嚴靈異ナ  
ラズヤ。

大神ハ、神代ノ古、御父大國主神ヲ、補佐シテ、此  
國土ヲ經營シ給ヒ、人民ノ安眠樂居スベキ基  
ヲ建テ給ヒ、農業商業ヲ始メ、總テ人ノ生活ス  
ベキ道ヲ教ヘ授ケ給ヘル御神ニマシマセバ、

天下ノ億兆、貴賤尊卑ノ別ナク敬ヒ奉ルベキ  
ハ此大神ナリ。殊ニ、幽顯分界トテ、人ノ世ト神  
ノ世ト分レシ時ヨリ、國津神ヲ率井テ、朝廷ノ  
守護神ト爲リタマヘバ、宮中ノ八神殿ニ齋キ  
祭ラセ給ヒテ、崇敬淺カラヌ御事ニオハシマ  
シキ。

大神ハ、人皇第一代、神武天皇ノ皇后、媛蹈鞬五  
十鈴媛命ノ御兄ニ坐マシ、第二代、綏靖天皇ノ  
皇后、五十鈴依媛命ノ御父ニ坐マシ、第三代、安  
寧天皇ノ皇后、淳名底仲媛命ノ御祖父ニマシ

マシテ、御皇統ノ上ニモ、深キ御由縁ゾ坐マシケル。  
世俗ニ、福ノ神トテ祭ル大黒神ハ、大神ノ御父大國主神ノ事ニシテ、夷神ハ、大神ノ事ナリ。夷トハ、イミ咲スニテ、御神像ノ御顔ノ笑マセ給ヘルニ因リテ申シ、由、古人ノ説アリ。又、御神像ニ鯛ヲ釣リ給ヘルハ、大神ノ神代ニ出雲國美保崎ニ漁獵シテ遊ビ給ヘル古事ニ依リテ造レルナリ。  
既ニ、上ニモ陳ベシ如ク、我皇統一系、万世不易

ノ國體ヲ確立シ、君臣父子ノ大道ヲ明定シ給ヒシハ、皇祖天神ノ神勅ニ因レリト雖モ、亦、此大神ノ忠孝ノ大道ヲ完全ニ行ヒ給ヒシ功績、與リテ大ニカアリト申スベシ。又、上古、大神ハ、御父大國主神ト共ニ、國土經營ノ御功績ヲ立テ給ヒ、天壤無窮ノ寶祚ヲ守リ、萬民ニ種々ノ幸福ヲ與ヘント思食シケレバ、寶祚無窮、國家安寧ヲ護リ坐マシテ、五穀豐熟、貿易繁昌、災害消除、海上安全、漁獵満足等ノ祈誓ニ至ルマデ、信心ノ輩ニハ、諸願悉ク成就セシメ給ヒテ、神



徳ノ日日ニ新ニ、月々ニ炳焉ナルハ、皆人ノ知  
ル所ナリ。猶詳細ハ、史籍ニ讓リテ、茲ニハ、唯、參  
拜者ノ神徳ノ概畧ヲ問ハル、答ヘニ代ヘン  
トス。

明治三十二年七月十六日印刷  
同 三十二年七月廿五日發行

非 賣 品

發行者 美保神社々務所

島根縣八束郡美保關村大字美保關六百八番地

島根縣八束郡西川津村大字西川津百五番屋敷

印刷者 前田得一

島根縣松江市殿町五十番地

印刷所 報光社

[Redacted header text]

[Redacted main body text]

[Redacted footer text]

特35

839

014656-000-8

特35-839

美保神社神徳略記(出雲国美保関)

田中 知邦/著

M32

ABB-1088

